第９期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画　評価表（令和８年度中間評価）

基本目標７　介護保険事業の円滑な実施

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
介護サービス相談員派遣回数（年間合計）	３１回	12 回	×	B
	R7 中間評価	12 回	×	B
	目標値には未達。9～12 月において、24 回派遣予定（年間 36 回見込）であり、年度末には目標値を達成できる見込み。			
運営指導実施回数（年間合計）	２６回	12 回	×	B
	R7 中間評価	１１回	×	B
	目標値には未達。９月～12 月において、１４回実施予定（年間 26 回見込）であり、年度末には目標値を達成できる見込み。			
介護予防・生活支援員新規養成者数	11 人	０人	×	C
	R7 中間評価	０人	×	C
	令和８年９月末時点で９名の申し込みがある。11 月に実施予定。市ホームページや瀬戸市公式ＳＮＳ、広報などにて市民へ周知している。			

【 数値達成度 （対目標値） 】

◎　100%以上の達成度合

○　75%以上 100%未満の達成度合

△　50%以上 75%未満の達成度合

×　50%未満の達成度合

【 総合評価 （目安） 】

A　優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた

B　創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた

C　課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である

D　課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価
B

担当部署コメント

介護サービス相談員派遣について、情報共有とスキルアップを目的として相談員連絡会議を定期的に開催することとし、業務の質の向上を図った。
運営指導実施回数について、実施においては、専門的な知識を要することから、着実な業務遂行に加えて、ベテランと新任職員のペアで運営指導にあたるなど、将来的な運営指導の質の維持のため、人材育成にも力点をおいて取り組んだ。
介護予防・生活支援員新規養成について、広報せとやＳＮＳ等を活用し、広く周知を図っていく。

評価委員会評価

在宅医療、在宅介護について、要介護者が増えてくると介護給付のニーズが増加する。しかし、現状においても、地域包括支援センターや居宅介護事業所等は、とても多忙であるという話を耳にする。今後の介護給付のニーズ増加を加味し、自立した高齢者を増やしていくことが、介護保険制度継続のために重要である。
介護事業所の指導監査について、制度改正のあった部分について、とくに重点的に確認し、介護給付の適正化に努めている。令和９年４月に制度改正があるため、今後も継続してほしい。